

# 国会通信

茨城選出の議員

## 「平和主義否定」 政権運営に懸念

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏(参院茨城)は26日、参院本会議で登壇し、安倍晋三首相の施政方針演説に対し会派を代表して質問した。安倍首相の政権運営について、「戦後歴代政権が積み上げてきた平和主義と民主主義を否定し、かつての危険な政治を歩んでいるようだ」と懸念を示した。

藤田氏は、安倍政権が進める「積極的平和主義」について、軍事的手段によ

る平和が柱で、暴力の示威で相手国の戦争意思を抑え込むものと批判。「『戦争をさせない国、戦争をおおらない国、戦争に巻き込まれない国』であることが真の平和主義だ」と訴えた。

沖縄県で相次ぐ米軍ヘリの不時着問題に触れ、「日本による事故原因の究明を妨げているのが日米地位協定だ」と指摘。安倍首相が主張する憲法改正に関連し、「国民が米国の押し付けを実感しているのは、憲法より日米地位協定だ」と強調し、協定の早期改定を目指すよう求めた。

安倍首相は積極的平和主義について「日本の安全およびアジア太平洋地域の平

和と安全を実現しつつ、国際社会の平和と安定、反映にこれまで以上に関与していかうというものだ」と反論した。  
(高岡健作)



参院本会議で質問に立つ民進党の藤田幸久氏=国会